

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

シールドトンネル工事については牛田地区の掘削が完了し、引き続き早期完成に向けて工事を推進している。

また、公社と受注者はこれまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしており、公社は引き続き工事費の精査を進めていながら、契約変更について契約約款に則って必要な手続きを進めていくこととしている。

3 概要

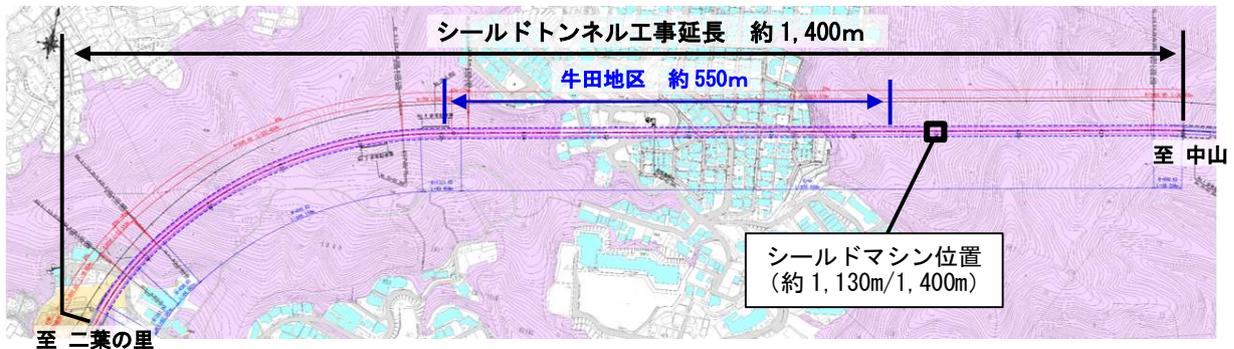
(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア シールドトンネル工事の掘削状況

シールドトンネル工事については、地表面変位の抑制などの対策を取りながら掘削を進め5月下旬に牛田地区を通過し、牛田地区通過後は昼間に加えて夜間も掘削作業を行っている。今月11日時点で工事延長約1,400mのうち、約1,130m地点に到達している。



イ 牛田地区における工事後の対応

牛田地区通過後、トンネル掘削の影響と考えられる地表面の変動は現時点で生じておらず、約1年間計測を継続した上で地表面変位の収束を判断する。その後に家屋等の事後調査を実施し、その結果を踏まえて適切に補償の対応を行っていく。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和6年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 645百万円

(5) 今後の対応

引き続き、安全・安心を第一に掘削を進めるとともに、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、事業主体である公社や広島市と連携し、住民代表との「協議の場」を定期的開催するなど、住民の声に耳を傾け誠意を持った対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。